

環境への配慮

ニチレイグループは、あらゆる環境負荷のゼロ化をめざす「ゼロエミッション」をテーマに、さまざまな環境保全活動に取り組むとともに、従業員一人ひとりが生活者の立場から、環境配慮について知恵を絞り、できることから一歩一歩実行しています。

事業活動と環境負荷

ニチレイグループのINPUT/OUTPUT

INPUT

原材料	
原材料	114 千トン
包装資材	13 千トン
エネルギー	
購入電力	422,094 千kWh
重油	6,153 kℓ
灯油	2,346 kℓ
都市ガス	2,559 千m ³
LPG	936 千m ³
ガソリン(社有車)	302 kℓ
軽油(社有車)	266 kℓ
エネルギー熱量換算※1	4,695,683 GJ※2
水資源	
上水道	1,387 千m ³
工業用水	640 千m ³
地下水(井水)	2,248 千m ³
合計	4,275 千m ³

※1 換算係数
電力:省エネ法施行規則(2002.12.27 改正)による
その他の燃料等:資源エネルギー庁発表「エネルギー源別発熱量表の改訂について(2001.3.30)」による

※2 GJ(ギガジュール):J(ジュール)はエネルギーの単位で、4.2Jが約1calに相当する

OUTPUT

大気系	
CO ₂ ※3	194,488トンCO ₂
NO _x ※4	33トン
SO _x ※5	37トン
水系	
下水道	1,185 千m ³
河川	1,567 千m ³
合計	2,751 千m ³
BOD※6	225 トン
COD※6	51 トン
廃棄物	
事業所外排出量	31千トン
リサイクル量	29千トン
最終処分廃棄物量※7	2千トン

※3 排出係数:「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン(試案VER1.5)による

※4 排出係数:「環境活動評価プログラム-エコアクション21-」(環境省総合環境政策局発行)より

※5 排出係数:「窒素酸化物総量規制マニュアル(改訂版)」(環境庁大気保全局発行)より

※6 排水濃度測定を実施している場合のみ排出量を算出

※7 事業所外に排出される廃棄物のうち、直接処分場に埋め立てられる廃棄物およびエネルギー利用などがなく単純焼却される廃棄物の量

INPUT

貴重な資源を無駄なく効率的に使用することを基本に、省資源、省エネルギー活動を地道に継続しています。

原料や資材の投入

食品工場では生産に伴って、原材料や包装資材を投入しています。これらを実効的かつ効率的に利用するため、生産工程の改善や商品設計時の配慮などを進めています。これらの活動は、商品トレイのサイズダウンや飲料缶の軽量化など包装資材の重量削減による消費時の廃棄削減にもつながっています。

エネルギーの投入

食品工場では、生産に伴って、加熱調理に電力、ガスなどを使用するとともに、冷却、冷凍のための設備に電力を使用します。また、物流センターにおいても商品を低温保管するための設備で電力を使用しています。各事業所では設備の確実な保守管理を基本として、効率的な運転を推進しています。オフィスにおいても空調温度の省エネ設定などに努めています。

水資源の投入

食品工場では、衛生管理のための洗浄用水使用量の多くを占めます。各事業所別に目標を設定し、水の循環利用や節水設備の導入など、使用量の削減に取り組んでいます。物流センターでは、設備の冷却水として循環使用し、蒸発分の補給が主な水使用量となりますが、設備の保守管理により、むだな水使用のないように管理しています。

OUTPUT

「ゼロエミッション」の実現に向けて、さまざまな視点から排出負荷低減に取り組んでいます。

大気、水への排出

事業所のCO₂の排出量は、投入エネルギー使用量に排出係数を掛けて算出されていることから、さまざまな省エネルギー活動の取り組みにより、CO₂排出削減に努めています。また、その他の排出負荷については、法に定められた排出基準の遵守を基本とするとともに、排出の最小化に努めています。

廃棄物

各事業所からは生ごみ、廃プラスチックなどの産業廃棄物や、紙ごみなどの一般廃棄物が発生します。原材料を受け入れる際の容器の工夫や、廃棄物の分別の徹底により、これまでゴミとなっていた廃棄物のリサイクルを実現するなど、すべての事業所における“ごみゼロ”をめざしています。

その他

ニチレイグループは、自らの環境活動の推進はもとより、協力会社の生産工場や物流委託先のトラックなど、事業に伴いグループ外で発生する環境負荷の削減にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

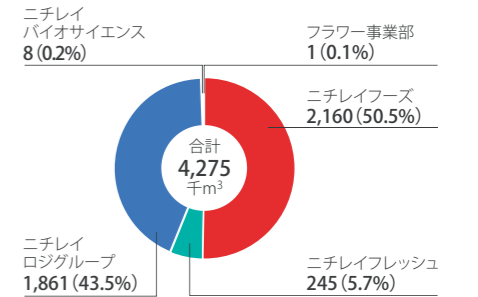
2005年度実績集計対象事業所 下記各社の食品工場、物流センターなどを集計対象としている。事業所が複数ある場合は()内に数を記載

ニチレイ
フラワー事業部
ニチレイフーズ
(株)ニチレイフーズ・プロ(9)、千葉畜産工業(株)、(株)ニチレイ・アイス(2)、(株)中冷
ニチレイフレッシュ
(株)まるいち加工(3)、横浜南プロセスセンター、川越プロセスセンター

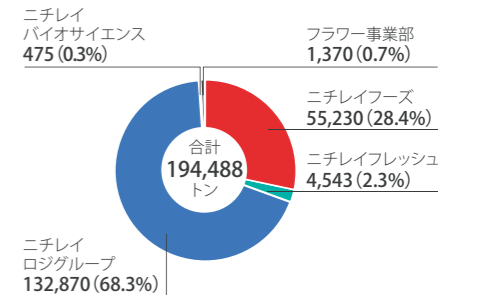
ニチレイロジグループ
(株)ロジスティクス・ネットワーク(25)、(株)ロジスティクス・オペレーション(5)、(株)ニチレイ・ロジスティクス北海道(6)、(株)ニチレイ・ロジスティクス東北(3)、(株)ニチレイ・ロジスティクス関東(8)、(株)ニチレイ・ロジスティクス東海(11)、(株)ニチレイ・ロジスティクス関西(16)、(株)ニチレイ・ロジスティクス中国(7)、(株)ニチレイ・ロジスティクス四国(9)、(株)ニチレイ・ロジスティクス九州(16)、(株)キョクレイ(4)、三重中央市場冷蔵(株)、下関漁港運輸(株)

ニチレイバイオサイエンス
開発センター
※工場、物流センターの同一敷地内にある事業所のエネルギー使用量なども含まれる
※上記以外の本社、支社、国内子会社などの事務所で使用する車両の燃料使用量を一部含む
※海外事業所は含まれない

各事業会社の水使用量 (単位:千m³)



各事業会社のCO₂排出量 (単位:トン)



各事業会社の最終処分廃棄物量 (単位:トン)

